

意見書案第 4 号

TPPへ参加しないことを求める意見書

上記事項に関し、別紙のとおり意見書を提出することについて議会の議決を
求める。

平成24年3月27日提出

提出者 中間市議会議員 田口澄雄

賛成者 " 宮下寛

 " 青木孝子

TPPへ参加しないことを求める意見書

昨年11月13日に、米国ホノルルで開かれた、アジア太平洋経済協力会議（APEC）の場において、野田首相はTPP（環太平洋経済連携協定）交渉に参加するため、関係国との間で協議に入ることを表明いたしました。

その直後に発表された、米通商代表部の大枠合意についてまとめた文章では、具体的な交渉内容については公表せず、膨大な量に上るとされる協定書も僅か7ページでした。

しかもTPP発行後4年間は、交渉内容は公表されないことも判明致しました。

これでは国民は結果を受け入れるだけになります。

TPPについては、物品貿易では、原則として全品目の関税を即時または段階的に撤廃し、更にサービス、貿易、政府調達、競争、知的財産、人の移動等を含む包括的な協定ですが、農業を中心として各分野で多大な悪影響が懸念されるどころです。

また、「アジアの成長を取り込む」とのうたい文句ですが、アジアでTPPに参加するのはベトナム、ブルネイ、マレーシア、シンガポールの4カ国だけで、アジアの成長センターである中国、韓国、台湾、タイ、インドネシアは入っていません。

むしろGDPでは、アメリカと日本だけで全参加国の91%を占めますので、日本は逆に、アメリカの財とサービスの倍増目標のターゲットとされるだけです。

こうしたアメリカと日本の一部大企業の利益のみが優先し、国内産業や暮らしまでも破壊するTPPへの参加は、日本経済全体にとっても、わたし達の生活を守っていく上からも百害あって一利なしであり当然やめるべきです。

よって本市議会は、国会及び政府に対して、TPPへ参加しないことを求めます。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

平成24年3月27日

中間市議会

提出先

内閣総理大臣	野田佳彦様
衆議院議長	横路孝弘様
参議院議長	平田健二様